

# 調査票

## A 豪雪地および離島の保健医療状況調査 豪雪地 無医地区状況調査について

昭和52年

社団法人 日本看護協会  
調査研究部

この調査票は、無医地区住民の健康問題、保健医療サービスの利用可能性、無医地区での保健婦活動について、原則として無医地区を担当する保健婦の皆様記入していただくようになっております。

調査項目はできるだけ記入しやすいよう工夫したつもりですが、中には調べなければ記入できないものもあり、調査票を完成させるのにかなりの時間を要するのでは無いかと思えます。ただでさえ多忙な中、このような仕事をしていたたは誠に心苦しいのですが、できるだけ全項目について御記入下さいませますようお願い致します。

### <記入上の注意>

- ・回答を選択肢から選ぶ場合は、該当する回答の番号を  に記入して下さい。1つの  に回答は1つだけです。
- ・  に選択肢の番号または実数を、( ) には文字を記入するようになっています。
- ・回答を要しない項目については、記入もれと区別するため次のように回答らんに斜線をひいて下さい。
- ・全部記入し終ったら、記入もれがないか点検して下さい。

F. まず次の表の各項目をうめて下さい。

F 1.	無医地区名 ( )	
F 2.	所属 県名 ( )	
F 3.	所属市町村名 ( )	
F 4.	管轄保健所名 ( )	
F 5.	地区担当保健婦の所属	<input type="checkbox"/> F5
	① 市 町 村    ② 県	

### I. 自然・交通

まず地区の自然条件および交通事情についておたずねします。但し、Q 1～Q 4は、昭和51～52年にかけての冬のことを書いて下さい。

Q 1. 当該無医地区の中心地（平地）で考えて、雪が最も深く積ったとき、それはおよそどれくらいに達しましたか。

① 50cm以内	② 50～100cm	③ 100～150cm	<input type="checkbox"/> Q1
④ 150～200cm	⑤ 200～300cm	⑥ 300～400cm	
⑦ 400cm以上			

Q 2. 地区中心地で考えて、根雪になってから春とけるまでの日数は、およそどれくらいでしたか。

① 100日以内	② 100～120日	③ 120～140日	<input type="checkbox"/> Q2
④ 140～160日	⑤ 160～180日	⑥ 180～200日	
⑦ 200日以上			

Q 3. 地区中心地まで、一日中車が入れず、地区が孤立したことが、冬の間にあわて何日位ありましたか。

① なし	② 5日以内	③ 6～10日	④ 11～15日	<input type="checkbox"/> Q3
⑤ 16～20日	⑥ 21～25日	⑦ 26日以上		

Q 4. 地区の孤立が最も長く続いた時、その日数はどれくらいでしたか。

① なし	② 1日だけ	③ 2～3日	④ 4～5日	<input type="checkbox"/> Q4
⑤ 6～10日	⑥ 11日以上			

Q 5. 自家用車の普及率（地区の全世帯に対する、自家用車のある世帯の比率）はどれくらいですか。

① 0%	② 10%未満	<input type="checkbox"/> Q5
③ 10～30%未満	④ 30～50%未満	
⑤ 50～70%未満	⑥ 70～90%未満	
⑦ 90～100%		

Q 6. 電話の普及率（地区の全世帯に対する、有線も含めた電話のある世帯の比率）はどれくらいですか。

① 0%	② 10%未満
③ 10～30%未満	④ 30～50%未満
⑤ 50～70%未満	⑥ 70～90%未満
⑦ 90～100%	

Q 6

Q 1 0. 昭和50年の出生・出生等の実数を記入して下さい。

A. 出生総数	<input type="text" value="010"/>
B. 低体重児（2500g以下）	<input type="text" value=""/>
C. 乳児死亡（生後1年未満）	<input type="text" value=""/>
D. 周産期死亡（妊娠8ヶ月以降生後1週未満）	<input type="text" value=""/>
E. 妊産婦死亡	<input type="text" value=""/>

### II. 世帯、人口、人口動態

次に、地区の世帯数、人口、人口動態についておたねねします。

Q 7. 地区の住民登録上の世帯数を記入して下さい。

A. 昭和40年（12月またはそれに近い月）	<input type="text" value="07"/>	世帯
B. 昭和45年（12月またはそれに近い月）	<input type="text" value=""/>	世帯
C. 昭和50年（12月またはそれに近い月）	<input type="text" value=""/>	世帯
D. 調査時	<input type="text" value=""/>	世帯

Q 8. 現在、地区内で生活保護をうけている世帯はどれだけありますか。

Q 8

Q 9. 地区の住民登録上の人口について記入して下さい。

A. 調査時の人口	<input type="text" value="09"/>	人
A-1. 総人口	<input type="text" value="A-1"/>	人
A-2. 65才以上の人口	<input type="text" value="A-2"/>	人
A-3. 15～64才人口	<input type="text" value="A-3"/>	人
A-4. 乳幼児（学令前）の人口	<input type="text" value="A-4"/>	人
B. 昭和40年の総人口（12月またはそれに近い月）	<input type="text" value="B"/>	人
C. 昭和45年の総人口（12月またはそれに近い月）	<input type="text" value="C"/>	人
D. 昭和50年の総人口（12月またはそれに近い月）	<input type="text" value="D"/>	人

### III. 住民の健康問題

次に、地区住民の生活・労働環境及びそこから来る健康問題についておたねねします。

Q 1 1. 地区の人々の魚肉類の購入方法は次のうちどれですか。該当するものが2つ以上ある場合、人々が主に利用しているものを1つだけ記入して下さい。

① 地区内の店で購入することができる
② 行商人から購入することができる (行商人の来る月間回数、夏 <input type="text" value=""/> 回、冬 <input type="text" value=""/> 回)
③ 地区内には店はないが、比較的近く(徒歩あるいは容易に利用できる交通手段で片道30分以内)の店で購入することができる
④ 遠くの町へ出なければ購入できない
⑤ その他 ( <input type="text" value=""/> )

Q 1 1

Q 1 2. 地区の人々の生活に関し、健康上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい（栄養のバランス特に蛋白質、塩分、アルコールの摂取など）

(  )

Q13. 地区の人々はこのような労働にたずさわっていますか、就労者の多い順に3つ記入して下さい。(例；農耕作業、養畜作業、建設作業、事務)

男 1 ( ) 2 ( ) 3 ( )  
 女 1 ( ) 2 ( ) 3 ( )

Q14. 地区の人々の労働量・労働形態など、就労に関して健康上特に問題になると、保健婦活動上、特に留意していることがあれば記入して下さい。男、女、老人にわけて記入して下さい。

男 ( )  
 女 ( )  
 老人 ( )

Q15. ここ一年間の出稼ぎ者は何人ぐらいですか。年間出稼ぎ日数別に記入して下さい。(3ヶ月以内の出稼ぎは除く)

A. 7ヶ月以上

Q15 A	人
B	人

B. 4～6ヶ月以内

Q16. 出稼ぎ者の健康問題に関して、特に問題になると、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

( )

Q17. 冬の暖房に関し、保健衛生上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい(保温状況、各室の温度差、排気など)。

( )

Q18. この地区で、母子保健上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

( )

Q19. この地区で特に多い、あるいは問題となる傷病は何でしょうか。その原因は何だと思えますか。このことに関連し、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

( )

Q20. ところで、現在地区内に次の疾患をもっている人が何人いますか。又ねたきり老人が何人いますか。

Q20		
A.	結核	人
B.	精神病	人
C.	高血圧性疾患	人
D.	心疾患	人
E.	脳卒中後遺症	人
F.	ねたきり老人(再掲)	人

Q21. この地区に住民が参加している保健医療に関する何らかの組織がありますか。

① な い

② あ る

( 組織がある場合 )

Q21

#### IV. 医療施設

次に、地区住民が利用できる病院・診療所等の医療サービスについておたずねします。

Q22. 地区中心地から最も近い(はやく行ける)医療施設(地区の住民が病気のときみてもらえる施設)は次のどれですか。通院に10分以上の違いがないところに2つ以上の施設がある場合は、その地区の人々がより多く行く方について記入して下さい。また、夏冬別に記入して下さい。

① 病院	② 有床診療所	Q22 夏	冬
③ 医師が常勤する無床診療所			
④ 医師が常勤しない無床診療所(出張診療所)			
⑤ その他( )			

(C22の回答が④の場合のみSQ1~SQ2について記入して下さい)

→Q22-SQ1. 診療日は月間何日ですか。夏冬別に記入して下さい。

① 3日以下	② 4~6日	Q22 SQ1 夏	冬
③ 7~9日	④ 10~12日		
⑤ 13~15日	⑥ 16日以上		

→Q22-SQ2. その診療所には常勤者がいますか。

① い る

② い な い

( 常勤者がいる場合 )

Q22  
SQ2

→Q22-SQ2-SSQ1. どのような職種の人が何人いますか。

( )

Q 2 3. 地区の人々がそこ(Q 2 2で答えたもよりの病院・診療所)へ通院するのに、どのような乗物を使っていますか。(重病人の輸送、緊急搬送ではない)夏冬別に最も多く用いられているものを1つずつ記入して下さい。ただし、2つ以上の乗物を併用して通院する場合は、そのすべてを記入して下さい。車等を使った上に片道20分以上の徒歩を要する場合も、併用とみなします。

① 自家用車(他家の自家用車への便乗を含む)  
 ② 徒歩 ③ そり ④ スノーボード  
 ⑤ 自転車 ⑥ タクシー・ハイヤー  
 ⑦ 公共の乗物(バス・鉄道) ⑧ その他( )

Q 2 3

夏	
冬	

Q 2 4. その方法で通院(前の間で答えた乗物を使って通院)した場合、乗換え、待ち合せ、診療時間などを含め、地区の中心地からの往復におよそどれ位かかりましたか。夏冬別に記入して下さい。

① 2時間以内 ② 2～3時間  
 ③ 3～5時間 ④ 5～7時間  
 ⑤ 7時間以上  
 ⑥ 日帰りできないので泊り込みを必要とする

Q 2 4

夏	
冬	

Q 2 5. この地区の人々が医療施設へ通院するのに利用できる患者輸送車(あり/なし)がありまか。又その設置主体はどこですか。

① ある(設置主体 )  
 ② な い

Q 2 5

--

Q 2 6. 慢性疾患で在宅療養をしているこの地区の人で、通院ができない(あるいは困難な)場合、通院以外の方法で保健医療サービスを受けることができますか。次に示すものうち可能なものを夏冬別に回答欄に記入して下さい。

① 電話で医師に相談することができる  
 ② 医師の往診を求めることができる  
 ③ 電話等による医師の指示にもとづき、医師以外の人から治療を受けることができる  
 ④ 医師以外の保健医療関係者の訪問を受けることができる  
 ⑤ 医師以外の保健医療関係者に電話で相談することができる

Q 2 6

夏	
冬	

(Q 2 6の回答が③の場合は記入して下さい)

→ Q 2 6-SQ 1. それはどんな職種の人ですか。

夏 ( ) 冬 ( )

(Q 2 6の回答が④の場合は記入して下さい)

→ Q 2 6-SQ 2. それはどんな職種の人ですか。

夏 ( ) 冬 ( )

(Q 2 6の回答が⑤の場合は記入して下さい)

→ Q 2 6-SQ 3. それはどんな職種の人ですか。

夏 ( ) 冬 ( )

Q 2 7. 地区中心地から最も近い（はやく行ける）次にあげる各医療施設へ、最もふつうに用いられている交通手段で通院した場合、乗換え・待ち合わせ・診療時間等も含め、地区の中心地から往復におよそどれ位かかりですか。夏冬別に記入して下さい。

Q27

	夏	冬
A		
B		
C		
D		
E		
F		
G		
H		
I		
J		
K		
L		
M		

- A. 医師が常勤する医療施設
- B. 有床診療所
- C. 病院
- D. 血液検査（赤血球数、白血球数、血色素数、ヘマトクリット）ができる医療施設（そこから検体を他所へ送るなどの方法を含める）
- E. 血液検査（肝機能検査）のできる医療施設（そこから検体を他所へ送るなどの方法を含める）
- F. 虫垂炎の手術のできる医療施設
- G. 眼科を有する医療施設
- H. 耳鼻科を有する医療施設
- I. 産婦人科を有する医療施設
- J. 皮膚科を有する医療施設
- K. 歯科を有する医療施設
- L. リハビリテーションを受けられる施設
- M. 助産所又は母子健康センター

① 半日以内 ② 1日ばかり ③ 1泊  
④ 2泊 ⑤ 3泊以上

Q 2 8. 地区の人々に利用されているもよりの医療施設と、より専門的な治療ができる医療施設との連絡、運びはスムーズに行っていますか。この点について特に問題になることがあれば記入して下さい。



V. 巡回診療

次に、地区の人々が利用できる巡回診療についておたずねします。  
Q 2 9. この1年間に、この地区を対象とした巡回診療（対象地区が決まっていな場合、地区の人々が往復に半日ぐらいかけられれば利用できる範囲内で実施された巡回診療）は何回ありましたか。同一診療班が次々と場所を移動する場合は1回として下さい。ただし時期を違えてくる場合は各々を1回として下さい。

① なかった	
② 1回	Q29
③ 2回	
④ 3回	
⑤ 4~5回	
⑥ 6回以上	

（Q 2 9の回答が⑥の場合は記入して下さい）  
→Q 2 9-S Q 1. 月又は週に何回ですか、また、実施主体はどこで、どのような方法で実施されていますか。具体的に記入して下さい。



（巡回診療があった場合、記入して下さい）  
→Q 2 9-S Q 2. それらの巡回診療にはどのような診療科目が含まれていますか。あるものすべてを記入して下さい。

① 内科	② 外科	③ 耳鼻咽喉科
④ 眼科	⑤ 整形外科	⑥ 産婦人科
⑦ 小児科	⑧ 皮膚科	⑨ 精神科
⑩ 歯科	⑪ その他	

Q29 SQ2


Q 3 0. この地区でこの1年間に巡回診療を利用した人は、延何人位いたでしょうか。

Q 3 0

--

Q 3 1. この地区についていえば、総体的にみて、ここ数年の間に巡回診療の利用者はふえていますか。

①	ふえている
②	かわらない
③	へっている

Q 3 1

(ふえた場合は記入して下さい)

→Q 3 1-SQ 1. 利用者がふえた理由は何だと思えますか。

( )

(へった場合は記入して下さい)

→Q 3 1-SQ 2. 利用者がへった理由は何だと思えますか。

( )

Q 3 2. この地区の人々にとって現在実施されている巡回診療は役に立っていると思えますか。

①	大いに役立っている
②	いくらか役立っている
③	ないよりはいい
④	あっても仕方がない
⑤	利用できるものがない

Q 3 2

(Q 3 2の回答が①、②の場合、記入して下さい)

→Q 3 2-SQ 1. どのような意味で役立っているのですか。主なものから順に2つえらんで下さい。

①	地区の人々にとり、一番身近で利用しやすい診断・治療のチャンスとなっている
②	地区の人々は医療施設に行くこともできるが、巡回診療時たまたま具合が悪ければ、近いので利用する
③	健診、検診と同様、疾病の早期発見のチャンスとなっている
④	近くの医療施設ではうけられない専門的な診断・治療をうけるチャンスとなっている
⑤	その他( )

Q 3 2-SQ 1

1	
2	

Q 3 3. 巡回診療にはさまざまな問題があるようですが、次に示す中でこの地区の人にとって問題だと思われるものをすべてあげて下さい。

①	近くに医療施設がなく、又巡回診療の数も少ないので、巡回診療で受ける治療が、その場限りのものになり、治療が続けられない
②	個々の巡回診療がもよりの医療施設や他の巡回診療と無関係に行なわれているので、巡回診療で受けた診断・治療が、次の治療とつなげられない
③	巡回診療の診療内容が、もよりの医療施設でうけられる診療の域を出ない
④	その他( )

Q 3 3


VI. 集団検診・健診

次に、地区の人々が利用できる集団検診・健診についておたずねします。

Q 3 4. この地区の成人を対象とする集団検診（地区の人々が往復に半日ぐらいかければ利用できる範囲内で実施されたものに限る）として、昭和51年度には何が実施されましたか。実施されたものすべてを回答らんに記入して下さい（結核を除く）。

- ① 循環器検診
- ② 胃 検 診
- ③ 子宮がん検診（又は婦人科検診）
- ④ 特に出稼き者を対象とする検診
- ⑤ その他（ ）


Q 3 4

Q 3 5. この地区についていえば、総体的にみて、ここ数年の間、成人を対象とする集団検診の受診率はふえていますか、それともへっていませんか。

- ① ふえている
- ② かわらない
- ③ へっている

--

Q 3 5

（ふえた場合は記入して下さい）

→ Q 3 5 - S Q 1. 受診率がふえた理由は何だと思えますか。

( )

（へった場合は記入して下さい）

→ Q 3 5 - S Q 2. 受診率がへった理由は何だと思えますか。

( )

Q 3 6. 地区の人々が3才児健診の実施会場まで行くのに、最もふつうに用いられる交通手段で、片道どれ位かかりますか。

- ① 1時間以内
- ② 1～2時間
- ③ 2～3時間
- ④ 3～5時間
- ⑤ 5時間以上

--

Q 3 6

Q 3 7. 昭和51年度には、3才児健診の該当者が地区内に何人いましたか。そのうち何人が受診しましたか。

Q 3 7 該当者	人
受診者	人

Q 3 8. 昭和51年度に3才児健診のほか、この地区の乳幼児を対象とする健診（地区の人々が往復に半日ぐらいかければ利用できる範囲内で実施されたものに限る）はありましたか、又、それは何ヶ月児あるいは何才児を対象としたものでしたか。

- ① 実施された（対象児 ）
- ② 実施されなかった

--

Q 3 8

Q 3 9. （昭和51年度に地区内で妊娠届出があった場合のみ記入して下さい）  
昭和51年度に妊娠届出した地区内の人のうち何人が公費による妊婦健診を受けましたか。

- A. 妊娠届出総数
- B. Aのうち妊婦健診を1回以上うけた人
- C. Bのうち2回以上うけられる妊婦健診をすべてうけた人

Q 3 9	件
A	人
B	人
C	人



Ⅲ. 救 急 医 療

次に、この地区に救急医療が発生した時のことや救急医療体制についておたずねします。

Q 4 0. 地区内に救急医療に何らかの協力をする人が特に決められていますか。

- ① 決められている
- ② 決められていない

Q 4 0

( Q 4 0 の回答が①の場合は、SQ 1、SQ 2を記入して下さい )

→ Q 4 0 - SQ 1. それはどのような名称ですか。またどのようなことに協力するのですか。

→ Q 4 0 - SQ 2. その人は次のうちどれに該当しますか。

- ① 就業していない看護職（保健婦、助産婦、看護婦、看護婦、准看護婦）
- ② 看護職の資格はないが、何らかの救急訓練を受けた人
- ③ 看護職の資格もなく、救急訓練も受けていない人

Q 4 0  
SQ 2

Q 4 1. 地区内に急病人が出た場合、医師に往診してもらえますか。夏冬別に記入して下さい。

- ① たいして来てもらえる
- ② その時の事情による
- ③ よほどの緊急事態でないとも来てもらえない
- ④ まず来てもらえない

Q 4 1

夏	冬

Q 4 2. すぐ処置する必要があるのに医師にみせるまでにかなり時間がかかる場合、応急処置は誰によってなされることが最も多いですか。ここ1～2年のことを考えて、下から1つだけえらんで下さい。

- ① 保健所・市町村の保健婦
- ② もよりの医療施設の看護職（保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦）
- ③ 救急医療に協力するよう特にきめられた非就業看護職
- ④ 救急医療に協力するよう特にきめられた人（③を除く）
- ⑤ その他（①②③以外）の看護職（例、たまたまそこに居住している人）
- ⑥ 家族やまわりの人が医師、看護婦等と連絡をとって
- ⑦ 家族やまわりの人が自己流で
- ⑧ その他（ ）
- ⑨ 応急処置を必要とすることはほとんどなかった

Q 4 2

Q 4 3. 急病人を医師がいつものよりもよりの医療施設に搬送する場合、地区中心地からの片道にどれ位の時間がかかりますか。夏冬別に記入して下さい。冬については、特に大雪やなだれ発生時ではなく、ふつうの状態を考えて下さい。

- ① 1時間以内
- ② 1～2時間
- ③ 2～3時間
- ④ 3～5時間
- ⑤ 5時間以上

Q 4 3

夏	冬

Q 4 4. ここ2年ほどの間に冬に冬に急病人が発生し、当日中に搬送できず何日か待つということがありますか。最も長く待った時、何日待ちましたか。

① そのようなことはなかった  
 ② 翌日まで待った  
 ③ 2日待った  
 ④ 3日以上待った

Q44

Q 4 5. この地区の人々が利用できる公的な救急搬送手段として何がありますか。夏冬別に利用できるものすべてをあげてください。

① 救急車 ② 患者輸送車 ③ 雪上車 ④ スノーボード  
 ⑤ その他( ) ⑥ 何もない

夏				
冬				

Q45

Q 4 6. この地区の人々にとって、公的な救急搬送手段は利用しやすいですか。

① 利用しやすい  
 ② 利用しやすい時と、しにくい時がある  
 ③ 利用しにくい

( Q 4 6 の回答が②の場合は記入して下さい )

→ Q 4 6 - S Q 1. どのような時に利用しにくいのですか。

( )

( Q 4 6 の回答が③の場合は記入して下さい )

→ Q 4 6 - S Q 2. なぜ利用しにくいのですか。

( )

Q 4 7. 急病人発生時、公的な搬送手段を利用できず、やむをえずタクシー、ハイヤーを利用したり、あるいは公的な搬送につなげるまでの間にタクシー、ハイヤーで搬送した場合、市町村より費用が補填されることがありますか。

① あ る  
 ② な い

Q47

( 費用の補填がある場合 )

→ Q 4 7 - S Q 1. 補填される場合の条件、補填額などについて記入して下さい。

( )

Q 4 8. 急病人を医師がいつもいるもよりの医療施設に搬送するのにタクシー、ハイヤーを利用した場合、費用はどれ位かかりですか。

① 500円以内 ② 500～1,000円  
 ③ 1,000～2,000円 ④ 2,000～3,000円  
 ⑤ 3,000～5,000円 ⑥ 5,000円以上

Q48

Q 4 9. この地区の救急医療体制全般について特に問題だと思うことがあれば記入して下さい。また、今までに手おくれになったという事例があれば、その状況、そこでの問題点などについて記入して下さい。

( )

Ⅶ. 冬期間医療対策

次に、冬期間医療対策についておたずねします。

Q 5 0. この地区の人々が利用できる積雪期のための公的な保健医療サービスとして次のようなものがありますか。ある場合は（ ）の中に具体的な内容を記入して下さい。

A. 積雪期前の巡回診療・相談など

① なし  
② あり ( )

Q50  
A

B. 積雪期巡回診療

① なし  
② あり ( )

Q50  
B

C. 積雪期出張診療

① なし  
② あり ( )

Q50  
C

D. 電話相談

① なし  
② あり ( )

Q50  
D

E. 医薬品の配布・配置

① なし  
② あり ( )

Q50  
E

F. 治療をつづけている人に対する薬の郵送

① なし  
② あり ( )

Q50  
F

G. その他

① なし  
② あり ( )

Q50  
G

Q 5 1. 積雪期のための保健医療サービスとして今はないけれども、この地区にとっては是非必要なものがありますか。それは何ですか。

( )

Ⅷ. 地区での保健婦活動

次に、あなたの地区での活動についておたずねします。

Q 5 2. あなたがこの地区を担当してからどれだけの期間がたちますか。

① 1年未満  
② 1～2年未満  
③ 2～4年未満  
④ 4～6年未満  
⑤ 6～8年未満  
⑥ 8～10年未満  
⑦ 10年以上

Q52

Q 5 3. あなたの主たる勤務場所はどこですか。

① 地区内の駐在所	Q53
② 地区外の駐在所	
③ 市町村役場	
④ 保健所	
⑤ その他	

(勤務場所が地区の外である場合、SQ1～SQ6について記入して下さい)

→Q53-SQ1. あなたはここからこの地区へ行くのに、何を使いますか。夏冬別に記入して下さい。2つ以上の乗物を併用する場合は、そのすべてを記入して下さい。車等を使った上に片道20分以上の徒歩を要する場合も、併用とみなします。

① 徒歩	② 自転車	③ バイク	Q53-SQ1
④ 公共の乗物 (バス・鉄道)	⑤ 公用車		
⑥ その他 ( )			
			夏
			冬

→Q53-SQ2. その方法で勤務地から地区中心地まで片道でどれ位かかりますか。夏冬別に記入して下さい。

① 30分以内	② 30分～1時間	Q53
③ 1時間～1時間30分		
④ 1時間30分～2時間		
⑤ 2～3時間		
⑥ 3時間以上		
		夏
		冬

→Q53-SQ3. 地区内で3時間程度の仕事をするとして日帰りか可能ですか。夏冬別に記入して下さい。

① できる	Q53
② できない	
	夏
	冬

SQ4.  
SQ5.  
→SQ6へ

→Q53-SQ4. 地区内で活動の拠点をもっていますか。もっているとすれば、それはどこを ( ) に記入して下さい。

① もっている ( )	Q53
② もっていない	
	SQ4

→Q53-SQ5. あなたは昭和51年度にこの地区に何日出くましましたか (前任者の分を含む)。

Q53	日
SQ5	

→Q53-SQ6. そのうち、昭和51年12月～昭和52年3月には何日出くましましたか。

Q53	日
SQ6	

Q54. あなたが昭和51年度にこの地区内の世帯に対して実施した家庭訪問について記入して下さい (前任者の分を含む)。

A. 1年間の訪問件数 (延)	Q54	件
B. 昭和51年12月～昭和52年3月までの訪問件数 (延) (再掲)	A	件
C. 1年間の訪問実件数	B	件
D. 1年間の訪問世帯実数	C	件
	D	件

Q55. あなたは、昭和51年度に地区内で健康相談をされましたか (前任者の分を含む)。

① した	Q55
② しない	

(健康相談をした場合、SQ1、SQ2について記入して下さい)

→Q55-SQ1. 1年間の回数、延件数はどれだけですか。	Q55	回
	SQ1	件

→SQ2へ

→ Q55-SQ2. どんな相談内容が多いですか。

成人病について

( )

母子について

( )

その他

( )

Q56. 昭和51年度に地区内で実施された、保健婦が参加する衛生教育はありましたか。

① あった	Q56
② なかった	

(衛生教育が実施された場合は記入して下さい)

→ Q56-SQ1. 1年間の回数、延参加人員はどれだけですか。 Q56

回数	
人員	

Q57. あなたは、この地区の人々が最もよく利用している医療施設の医師と接触をえていますか。

① よく接触している	Q57
② たまに接触している	
③ ほとんど接触していない	
④ 全く接触していない	

(Q57の回答が①、②の場合、記入して下さい)

→ Q57-SQ1. それはどのようなとき、どのようなことについてですか。

( )

Q 5 8. あなたは、この地区の人々がよく利用している医療施設の看護婦（看護婦）と接触をもっていきますか。

①	よく接触している。
②	たまに接触している
③	ほとんど接触していない
④	全く接触していない

Q 5 8

（Q 5 8 の回答が①、②の場合、記入して下さい）

→ Q 5 8 - S Q 1. それはどのようなとき、どのようなことならについてですか。

( )

Q 5 9. この地区の人々がよく利用している医療施設の医師や看護婦（看護婦）と  
— 付き合いをとろうとする時、特に問題となることは何ですか。

A. 医師との付き合い上の問題

( )

B. 看護婦（看護婦）との付き合い上の問題

( )

Q 6 0. あなたは、この地区の人々の健康を守るために、巡回診療や集団検診をどの  
ように活用していますか。

( )

Q 6 1. 地区内に急病人やけが人が出た場合、あなたは何らかの関与をしますか。

①	関与することが多い
②	関与することもある
③	ほとんど関与しない

Q 6 1

（Q 6 1 の回答が①、②の場合、S Q 1、S Q 2 について記入して下さい）

→ Q 6 1 - S Q 1. それはどのようなことですか。

( )

→ Q 6 1 - S Q 2. 過去 2 年間にあなた（または前任者）が、この地区で行なった応  
急処置の中で、最も大変だったと思うもの一例について、その時の状  
況、応急処置の内容などについて記入して下さい。

( )

Q 6 2. 地区内で保健婦活動をすすめるうえで、あなたはどんな住民組織をどのように活用していますか。

( )

Q 6 3. あなたが、この地区で地区活動をしようとする時、困ることや悩みがあったら記入して下さい。

( )

## A 豪雪地および離島の保健医療状況調査 離島用 島しよの健康問題と保健医療に関する調査

昭和52年

社団法人 日本看護協会  
調査研究部

この調査票は、島民の健康問題、保健医療サービスの利用可能性および島における保健婦活動について、原則として島を担当する保健婦の皆様が、他の人と相談するなどして記入するようになっております。

調査項目はできるだけ記入しやすいように工夫したつもりですが、中には調べなければ記入できないものもあり、調査票を完成させるのにかなりの時間を要するのではないかと思います。ただできるだけ多忙中、このような仕事をしていた多くの人は誠に心苦しいのですが、できるだけ全項目について御記入下さいませようをお願い致します。

### <記入上の注意>

- ・調査票は、島全体について記入する第1部と、島内の無医地区（島内に無医地区がない場合は、島内で医療機関の利用が最も不便な集落）について、地区単位で記入する第2部とに分かれています。
- ・時期を特に指定していない設問については、できるだけ現在に近い状況について記入して下さい。また、「ここ1年」のことを問うている設問があります。これは、厳密に言えば調査時より過去1年間をさしますが、半年以内ならずれてもかまいません。
- ・回答を選択肢から選ぶ場合は、該当する回答の番号を  に記入して下さい。1つの  に回答は1つだけです。
- ・  には選択肢の番号または実数を、( ) には文字を記入するようになっています。
- ・回答を要しない項目については、記入もれと区別するため次のように回答らんに斜線をひいて下さい。  ( )
- ・全部記入し終ったら、記入もれがないか点検して下さい。

御協力ありがとうございました。

# 第1部 島全体について

F. まずこの島の全体的なことについて記入して下さい。

F.1. 島の名称 ( ) )

F.2. 所属県名 ( ) )

F.3. 管轄保健所名 ( ) )

F.4. 市町村名 (島にいくつかの市町村がある場合は、すべてを記入して下さい。)

( ) )

F.5. 島内無医地区数(ない場合は0と記入して下さい。) F5

F.6. 島担当保健婦(この調査票の記入者)の所属

① 市町村 ② 県 F6

## I. 交通・通信

まず島の交通、通信事情についておたずねします。

Q.1. 島には、定期船が接岸できる港がありますか。

① な い ② 1つある ③ 2つ以上ある Q1

Q.2. この島には、定期船が運航していますか。

① 運航している ② 運航していない Q2

(定期船が運航している場合は、SQ1~SQ4について記入して下さい)

→ Q.2-SQ.1. この島から本土(本州、四国、九州)に向う定期船(途中で乗りかえる場合も含む)は何便出ていますか(特に多かったり、少なかったりするシーズンではなく、通常時の便数を記入して下さい)。

① 1週1回以下 ② 2日おき ③ 1日おき Q2-SQ1

④ 1日1便 ⑤ 1日2便 ⑥ 1日3便

⑦ 1日4~5便 ⑧ 1日6便以上

→ Q.2-SQ.2. 本土の港まで定期船で通常何時間かかりますか(途中で乗りかえる場合、乗りかえ時間も含む)。

① 30分以内 ② 30分~1時間 Q2-SQ2

③ 1時間~1時間30分 ④ 1時間30分~2時間

⑤ 2~3時間 ⑥ 3~5時間

⑦ 5時間以上

→ Q.2-SQ.3. この1年間に、本土に向う定期船が欠航したうちで、最長欠航日数は何日ですか(何日かおきの定期便が欠航した場合は、前の定期便が出てから、次の便が出るまでを、欠航日数とみなします)。

① そのようなことはなかった ② 2日以内 Q2-SQ3

③ 3~5日 ④ 6~10日

⑤ 11~15日 ⑥ 16~20日

⑦ 21日以上

→ Q.2-SQ.4. 定期船の欠航日数は、この1年間にあわせて何日ありましたか。(何日かおきの定期便が欠航した場合は、前の定期便が出てから、次の便が出るまでを、欠航日数とみなします)。

① な し ② 5日以内 Q2-SQ4

③ 6~10日 ④ 11~20日

⑤ 21~30日 ⑥ 31~50日

⑦ 51日以上

Q.3. この島には、定期の飛行機が運航していますか。

① 運航している ② 運航していない Q3

Q.4. この島には、ヘリコプターが着陸できますか。

① 昼夜ともできる Q4

② 昼のみできる

③ できない



Q 5. 動力付自家用船の普及率（島の全世帯に対する、自家用船のある世帯の比率）はどれ位ですか。

- ① 0%
- ② 10%未満
- ③ 10～30%未満
- ④ 30～50%未満
- ⑤ 50～70%未満
- ⑥ 70～90%未満
- ⑦ 90～100%

Q5

Q 6. 自家用車の普及率（島の全世帯に対する、自家用車のある世帯の比率）はどれ位ですか。

- ① 0%
- ② 10%未満
- ③ 10～30%未満
- ④ 30～50%未満
- ⑤ 50～70%未満
- ⑥ 70～90%未満
- ⑦ 90～100%

Q6

Q 7. 電話の普及率（島の全世帯に対する、有線も含め電話のある世帯の比率）はどれ位ですか。

- ① 0%
- ② 10%未満
- ③ 10～30%未満
- ④ 30～50%未満
- ⑤ 50～70%未満
- ⑥ 70～90%未満
- ⑦ 90～100%

Q7

## Ⅱ. 世帯、人口、人口動態

次に、島の世帯数、人口、人口動態についておたずねします。

Q 8. 島の住民登録上の世帯数を記入して下さい。

Q8	世帯
A. 昭和40年（12月またはそれに近い月）	世帯
B. 昭和45年（12月またはそれに近い月）	世帯
C. 昭和50年（12月またはそれに近い月）	世帯
D. 昭和52年（7月またはそれに近い月）	世帯

Q 9. 現在、島内で生活保護をうけている世帯はどれだけあります  
か（昭和52年7月現在またはそれに近い月）

Q9  世帯

Q 10. 島の住民登録上の人口について記入して下さい。

Q10	人
A-1. 総人口	人
A-2. 65才以上の人口	人
A-3. 15～64才の人口	人
A-4. 乳幼児（学令前）の人口	人
B. 昭和40年の総人口（12月またはそれに近い月）	人
C. 昭和45年の総人口（12月またはそれに近い月）	人
D. 昭和50年の総人口（12月またはそれに近い月）	人

Q 11. 昭和51年の出生、出生等の実数を記入して下さい。

Q11	件
A. 出生総数	件
B. 低体重児（2500g以下）	件
C. 乳児死亡（生後1年未満）	件
D. 周産期死亡（妊娠8ヶ月以降生後1週未満）	件
E. 妊産婦死亡	件

**Ⅰ. 住民の健康問題**

次に、島民の生活、労働環境及びそこから来る健康問題についておたずねします。

Q 1 2. ある種の食品類が手に入りにくく、栄養のバランスがとりにくいということがありますか。それはどんな食品類ですか。

( )

Q 1 3. 島民の食生活に関し、健康上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい（栄養のバランス一特に蛋白質、塩分、アルコールの摂取など）。

( )

Q 1 4. 島の飲料水に関し、健康上特に問題になることがあれば記入して下さい。

( )

Q 1 5. 島民はどのような労働にたずさわっていますか、就労者の多い順に3つ記入して下さい（例：みかん栽培、定着網漁、はたおり、土木作業など）。

男	1 ( )	女	1 ( )
	2 ( )		2 ( )
	3 ( )		3 ( )

Q 1 6. 島民の労働量・労働形態など、就労に関して健康上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。男・女・老人にわけて記入して下さい。

男	( )	( )	( )
女	( )	( )	( )
老人	( )	( )	( )

Q17. ここ一年間の出稼ぎ者は何人くらいですか。年間出稼ぎ日数別に記入して下さい(4ヶ月にみたない出稼ぎは除く)。

A. 7ヶ月以上	Q17	人
B. 4～6ヶ月以内		人

Q18. 出稼ぎ者の健康問題に関して、特に問題となること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

( )

Q19. この島で、母子保健上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

( )

Q20. この島で特に多い、あるいは問題となる傷病は何でしょうか。その原因は何だと思いますか。このことに関連し、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

( )

Q21. ところで、現在島内に次の疾患をもっている人が何人いますか。また、ねたきり老人は何人いますか。もしわかるようでしたら記入して下さい。

A. 結核	Q21	人
B. 精神病		人
C. 高血圧性疾患		人
D. 心疾患		人
E. 脳卒中後遺症		人
F. ねたきり老人(再掲)		人

Q22. この島内に住民が参加している保健医療のための何らかの組織がありますか。

① ない	Q22	<input type="checkbox"/>
② ある		<input type="checkbox"/>

(組織がある場合は記入して下さい)

→ Q22-SQ 名称・構成メンバー・目的・活動内容などについて記入して下さい。

( )

IV. 島内の医療施設・医療従事者および島民の受診状況

次に、島内の医療施設・医療従事者および島民の受診状況についておたずねします。

Q 2 3. 島内にある医療施設の数を、施設の種別別、設置主体別に記入して下さい。  
ないものについては合計らんば0と記入して下さい。

施設の種類	設置主体		国	県	医 療 法	個 人	その他	計
	市町村	国保						
一般病院								
その他の病院 (精神、結核、らい)								
一般有床診療所								
一般無床診療所 (医師常勤)								
一般出張診療所 (医師非常勤)								
歯科診療所(医師常勤 非常勤を問わない)								

Q 2 4. 島内にある次の保健医療施設の数を記入して下さい。ないものについては0と記入して下さい。

	Q 2 4
A. 母子健康センター	カ所
B. 助産所	カ所
C. 特別養護老人ホーム	カ所
D. 保健所(支所を含む)	カ所
E. あんま、はり、きゅう所	カ所
F. 薬局	カ所
G. さぐすりや(薬種商、薬局)	カ所

Q 2 5. 国民健康保険に加入している島民の受診に対する保険給付状況がわかるようでしたら、記入して下さい。(5/年度について)

受診した施設	区分	一般診療		歯科診療
		入	院外	
島内の施設	件数			
	金額円			
島外の施設	件数			
	金額円			
計	件数			
	金額円			

Q 2 6. 島内で就業している保健医療関係者の数を、常勤者と非常勤者(月2日以上就業している者に限る)に分けて記入して下さい。いない場合は0と記入して下さい。

	常 勤	非 常 勤
A. 医師	人	人
B. 歯科医師	人	人
C. 薬剤師	人	人
D. 保健婦	人	人
E. 助産婦	人	人
F. 看護婦	人	人
G. 准看護婦	人	人
H. 看護婦とよばれている無資格者	人	人
I. 養護教諭	人	人
J. その他( )	人	人

V. 巡回診療

次に、島内で実施された巡回診療についておたずねします。

Q27. この1年間に、島内で実施された巡回診療は何回ありましたか。同一診療班が次々と場所を移動する場合は1回として下さい。ただし時期を違えてくる場合はそれぞれを1回として下さい。

① なかった  
 ② 1回 ③ 2回 ④ 3回 ⑤ 4～5回  
 ⑥ 6回以上

Q27

(Q27の回答が⑥の場合は記入して下さい)

→Q27-SQ1. 月又は週に何回ですか。また実施主体はどこで、どのような方法で実施されていますか。具体的に記入して下さい。

( )

(巡回診療があった場合、記入して下さい)

→Q27-SQ2. それらの巡回診療にはどのような診療科目が含まれていますか。あるものすべてを記入して下さい。

① 内科	② 外科
③ 耳鼻咽喉科	④ 眼科
⑤ 整形外科	⑥ 産婦人科
⑦ 小児科	⑧ 皮膚科
⑨ 精神科	⑩ 歯科
⑪ その他( )	

Q27  
SQ2

--	--	--	--	--	--	--

Q28. この1年間に島内で実施された巡回診療を利用した人は、延何人位いたでしょうか。

Q28

〇

Q29. この島では、総体的にみて、ここ数年の間に巡回診療の利用者はふえていますか。

① ふえている  
 ② かわらない  
 ③ へっている

Q29

(ふえた場合は記入して下さい)

→Q29-SQ1. 利用者がふえた理由は何だと思えますか。

( )

(へった場合は記入して下さい)

→Q29-SQ2. 利用者が減った理由は何だと思えますか。

( )

Q 3 0. この島の人々にとって、現在実施されている巡回診療は役に立っていると思  
いますか。

① 大いに役に立っている  
② いくらか役に立っている  
③ ないよりはいい  
④ あっても仕方がない  
⑤ 島では巡回診療は行なわれていない

Q30

( Q 3 0 の回答が、①、②の場合、記入して下さい )

→ Q 3 0 - S Q 1. どのような意味で役に立っているのですか。主なものから順に 2  
つえらんで下さい。

① 島民にとって、一番身近で利用しやすい診断・  
治療のチャンスとなっている  
② 島民は医療施設に行くこともできるが、巡回診  
療時、たまたま具合が悪ければ、近いので利用  
する  
③ 健診・検診と同様、疾病の早期発見のチャン  
スとなっている  
④ 近くの医療施設ではうけられない専門的な診断  
・治療をうけるチャンスとなっている  
⑤ その他 ( )

Q30-SQ1

1  
2

Q 3 1. 巡回診療にはさまざまな問題があるようですが、次に示す中でこの島の人々  
にとって問題だと思われるものをすべてあげて下さい。

① 近くに医療施設がなく、また巡回診療の数も少ないので、治療  
巡回診療で受ける治療が、その場限りのものになり、治療  
が続けられない  
② 個々の巡回診療でもよりの医療施設や他の巡回診療と無関  
係に行なわれているので、巡回診療で受けた診断・治療が、  
次の治療とつなげられない  
③ 巡回診療の診療内容が、もよりの医療施設で受けられる診  
療の域を出ない  
④ その他 ( )

Q31

## VI. 集団検診・健診

次に、島内で実施された集団検診・健診についておたずねします。

Q 3 2. 成人を対象とする集団検診として、島内では昭和 5 1 年度に何  
が実施されましたか。実施されたものを回答欄に記入して下  
さい ( 結核を除く )。

① 循環器検診  
② 胃 検 診  
③ 子宮がん検診 ( または婦人科検診 )  
④ 特に出稼ぎ者を対象とする検診  
⑤ その他 ( )

Q32

Q 3 3. この島では、総体的にみて、ここ数年の間に、成人を対象とする集団検診の  
受診率はふえていますか、それともへっていますか。

① ふえている  
② かわらない  
③ へっている

( ふえた場合は記入して下さい )

→ Q 3 3 - S Q 1. 受診率がふえた理由は何だと思えますか。

Q33

( へった場合は記入して下さい )

→ Q 3 3 - S Q 2. 受診率がへった理由は何だと思えますか。

Ⅶ. 救急医療

救急医療体制についておたずねします。

Q 3 4. 昭和51年度の3才児健診は島内で実施されましたか。

① 島内で実施された  Q34  
 ② 島内では実施されなかった

(島内では実施されなかった場合、記入して下さい)

→Q34-SQ1. 島外の実施会場まで行くのに、最も普通に用いられる交通手段で、島の中心地から片道どれ位かかりですか。

① 1時間以内 ② 1～2時間  
 ③ 2～3時間 ④ 3～5時間  
 ⑤ 5時間以上

Q34  
SQ1

Q 3 5. 昭和51年度には、3才児健診の該当者が島内に何人いましたか。そのうち何人が受診しましたか。

Q35  
該当者  人  
受診者  人

Q 3 6. 昭和51年度に島内で実施された乳幼児健診が、3才児健診のほかにありましたか、また、それは何ヶ月児、あるいは何才児を対象としたものでしたか。

① 実施された(対象児 )  
 ② 実施されなかった  Q36

Q 3 7. (昭和51年度に島内で妊娠届があった場合のみ記入して下さい)

昭和51年度に妊娠届をした島民のうち何人が公費による妊婦健診をうけましたか。

A. 妊娠届出総数  件 Q37  
 B. Aのうち妊婦健診を1回以上うけた人  人  
 C. Bのうち2回以上うけられる妊婦健診をすべてうけた人  人

Q 3 8. この島には、島内外への救急搬送手段(公的なもの)として、次のものが配備されていますか。あるものすべてをあげて下さい。

① 患者輸送車 ② 救急車  
 ③ 患者輸送艇 ④ その他(  )

Q38

Q 3 9. 島外への公的な救急搬送にはどのような方法がとられていますか。頻度の高い順に2つえらんで下さい。

① この島に配備されている公的船舶を使う  
 ② 他の島あるいは本土に配置されている公的船舶を使う  
 ③ ヘリコプターを使う  
 ④ 仕立船で行く  
 ⑤ 定期船を利用する  
 ⑥ その他(  )

Q39

Q 4 0. ここ2年ほどの間に島内の急病人を島外へ搬送する必要があるのに、当日中に搬送できず何日か待つということがありましたか。最高何日待ちましたか。

① そのようなことはなかった  
 ② 翌日まで待った  
 ③ 2日待った  
 ④ 3～5日待った  
 ⑤ 5日以上待った

Q40

Q 4 1. この1年間に島外へのヘリコプターによる救急搬送がどれだけありましたか。行政へリ、自衛隊へリ別に記入して下さい。なかった場合は0と記入して下さい。また、もし傷病別内訳が分るようでしたらこのらんもうめて下さい。

件数	傷病別	内訳
行政へリ		
自衛隊へリ		

Q 4 2. 急患発生からヘリコプター出動までの手続、連絡などほどのようにしてなされ  
れますか。また、その過程で特に問題になることがあれば記入して下さい。

A. 手続、連絡など

( )

B. 特に問題になること

( )

Q 4 3. この島の救急医療体制全般について、特に問題だと思ふことがあれば記入し  
て下さい。また、今までに手おくれになったという事例があれば、その時の状況、  
そこでの問題点について記入して下さい。

A. 特に問題だと思ふこと

( )

B. 手おくれになった事例

( )

Ⅷ. 島での保健婦活動

次に、この島での保健婦活動についておたずねします。Q 4 4 ~ 4 6 は、保  
健所保健婦および市町村（国保を含む）保健婦の活動をあわせて考えて下さい。

Q 4 4. 昭和 5 1 年度に島内で実施された保健婦の家庭訪問件数を、保健所保健婦に  
よるものと、市町村（国保を含む）保健婦によるものとに分けて記入して下さい。  
ない場合は 0 と記入して下さい。

Q 4 4	保健所	市町村
A. 訪問件数(延)	件	件
B. 訪問件数(実)	件	件
C. 訪問世帯数(実)	件	件

Q 4 5. 昭和 5 1 年度に島内で実施された保健婦の健康相談は何回	Q 4 5	回
ありましたか。延件数はどれだけのですか。なかった場合は 0 と		件
記入して下さい。		

( 島内で保健婦の健康相談が実施されている場合は記入して下さい )

→ Q 4 5-SQ 1. どんな相談内容が多いですか。

( )

Q 4 6. 昭和 5 1 年度に、島内で実施された、保健婦が参加する衛生教育は何回あり ましたか。延参加人員はどれだけのですか。なかった場合は 0 と記入して下さい。	Q 4 6	回
		人



→Q48-SQ4. あなたが島内で活動するのに、活動の拠点となる場所がありますか。あるとすればそれはどんなところかを( )に記入して下さい。

① あ る ( )  
 ② な い

Q48  
SQ4

→Q48-SQ5. あなたの昭和51年度のこの島における活動日数はどれだけですか(前任者の分を含む)。

Q48  
SQ5

→Q48-SQ6. あなたはこの島に出むくのに、次のどの形をとっていますか。該当するものすべてを記入して下さい。

① 一時駐在(定期)  
 ② 一時駐在(不定期)  
 ③ 出張(定期)  
 ④ 出張(不定期)

Q48  
SQ6

→Q48-SQ7. あなたが島に出むく時の主目的は何ですか。何回か異なる目的で出むく場合は、該当するものすべてを記入して下さい。

① 家庭訪問を主目的として  
 ② 健康相談を主目的として  
 ③ 衛生教育を主目的として  
 ④ 移動保健所に同行  
 ⑤ 巡回診療に同行  
 ⑥ その他( )

Q48  
SQ7

Q49. あなたは巡回診療や集団検診を、自分の活動の中にどう位置づけ、どう活用していますか。

( )

Q47~52は、あなたのこと、あるいはあなたの活動について記入して下さい。

Q47. あなたがこの島を担当してからどれだけの期間が経ちましたか。

① 1年未満  
 ② 1~2年未満  
 ③ 2~4年未満  
 ④ 4~6年未満  
 ⑤ 6~8年未満  
 ⑥ 8~10年未満  
 ⑦ 10年以上

Q47

Q48. あなたの主たる勤務場所はどこですか。

① この島の中の市町村役場  
 ② この島の中の保健所(支所を含む)  
 ③ この島の中の駐在所  
 ④ この島の中のその他の場所( )  
 ⑤ この島の外の市町村役場  
 ⑥ この島の外の保健所(支所を含む)  
 ⑦ この島の外の駐在所  
 ⑧ この島の外のその他の場所( )

Q48

(勤務場所が島外である場合、SQ1~SQ6について記入して下さい)

→Q48-SQ1. あなたはそこからこの島へ行くのにふつう何を使いますか。

① 定期船  
 ② 公用艇  
 ③ 定期飛行機  
 ④ 行政ヘリコプター  
 ⑤ その他( )

Q48  
SQ1

→Q48-SQ2. その方法で勤務場所から島まで片道でどれ位かかりましたか。

① 30分以内  
 ② 30分~1時間  
 ③ 1時間~1時間30分  
 ④ 1時間30分~2時間  
 ⑤ 2~3時間  
 ⑥ 3時間以上

Q48  
SQ2

→Q48-SQ3. 島内で3時間程度の仕事をするとして、日帰りが可能ですか。

① できる  
 ② できない

Q48  
SQ3

SQ4~

Q 5 0. 島内に急病人やけが人が出た場合、あなたは何らかの関与をしますか。

① 関与することが多い
② 関与することもある
③ ほとんど関与しない

Q 5 0

( Q 5 0 の回答が①、②の場合は記入して下さい )

→ Q 5 0 - S Q 1. それはどのようなことですか。

( )

Q 5 1. 島内で保健婦活動をすすめるうえで、あなたはどんな住民組織を、どのよう  
に活用していますか。

( )

Q 5 2. あなたがこの島で地区活動をしようとする時、困ることや悩みがあったら記  
入して下さい。

( )

## 第 2 部 無医地区、あるいは島内で医療機関の利用が最も も不便な地区 ( 集落 ) について

島に無医地区が2つ以上ある場合は、1地区につき1票記入して下さい。島  
に無医地区がない場合は、常設の医療機関の利用が最も不便である島内の地区  
( 集落 ) 1カ所について記入して下さい。

F. まずこの地区の全体的なことについて記入して下さい。

F 1. 地区の名称 ( )
F 2. 所属島の名称 ( )
F 3. 住民登録上の人口 ( 昭和 5 2 年 7 月 現在またはそれに近い月 )
F 4. 住民登録上の世帯数 ( 昭和 5 2 年 7 月 現在またはそれに近い月 )

次に、この地区の人々が利用できる医療サービスについておたずねします。

Q 1. 地区中心地から最も近い ( はやく行ける ) 医療施設 ( 地区の住民が病気のとき  
みてもらえるところ ) は次のうちどれですか。通院に 1 0 分以上の違いがないと  
ころに 2 つ以上の施設がある場合は、その地区の人々がより多く利用する方につ  
いて記入して下さい。

① 病院	② 有床診療所
③ 医師が常勤する無床診療所	Q 1
④ 医師が常勤しない診療所 ( 出張診療所 )	
⑤ その他 ( )	

( Q 1 の回答が④の場合、S Q 1 ~ S Q 2 について記入して下さい )

→ Q 1 - S Q 1. 診療日は月間何日ですか。

① 3 日以下	② 4 ~ 6 日
③ 7 ~ 9 日	④ 1 0 ~ 1 2 日
⑤ 1 3 ~ 1 5 日	⑥ 1 6 日以上

Q 1  
S Q 1

S Q 2 ~

Q 4. 地区中心地から最も近い(はやく行ける)次における各医療施設へ、最もふつうに用いられている交通手段で通院した場合、乗換え、待ち合わせ、診察時間等も含め、地区の中心地からの往復におよそどれ位かかりですか。A～Mの各々について、下の□の選択肢からえらんで下さい。

① 半日以内	② 1日ばかり	③ 1泊
④ 2泊	⑤ 3泊以上	

- A. 医師が常勤する医療施設  
 B. 有床診療所  
 C. 病院  
 D. 赤血球数、白血球数、血色素数、ヘマトクリットの血液検査ができる医療施設(そこから他所へ検体を送る場合も含める)  
 E. 血液検査のうち肝機能検査のできる医療施設(そこから他所へ検体を送る場合も含める)  
 F. 虫垂炎の手術のできる医療施設  
 G. 眼科を有する医療施設  
 H. 耳鼻科を有する医療施設  
 I. 産婦人科を有する医療施設  
 J. 皮膚科を有する医療施設  
 K. 歯科を有する医療施設  
 L. リハビリテーションを受けられる医療施設  
 M. 助産所又は母子健康センター

Q4	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

Q 5. 地区の人々に利用されているもよりの医療施設と、より専門的な治療ができる他の医療施設との連絡、連けいはスムーズに行っていますか。この点について特に問題になることがあれば記入して下さい。

→Q1-SQ2. その診療所にはは常勤者がいますか。

① い	る
② い	ない

Q1  
SQ2

(常勤者がいる場合は記入して下さい)

→Q1-SQ2-SSQ1. どのような職種の人が何人いますか。

Q 2. 地区の人がそこ(Q1で答えたもよりの病院、診療所)へ通院するのに、どのような乗物を使っていますか。(重病人の輸送、緊急搬送ではない)。最も多く用いられているものを1つえらんで下さい。ただし2つ以上の乗物を併用して通院する場合は、そのすべてを記入して下さい。車等を使った上に片道20分以上の徒歩を要する場合も、併用とみなします。

- ① 自家用車(他家の自家用車への便乗を含む)  
 ② バス  
 ③ 定期船  
 ④ 自家用船(他家の自家用船への便乗を含む)  
 ⑤ 徒歩  
 ⑥ 自転車  
 ⑦ タクシー・ハイヤー  
 ⑧ その他( )

Q2

--	--	--

Q 3. その方法で(前の問で答えた乗物を使って)通院した場合、乗換え、待ち合わせ、診療時間などを含め、地区の中心地からの往復におよそどれ位かかりですか。

- ① 2時間以内  
 ② 2～3時間  
 ③ 3～5時間  
 ④ 5～7時間  
 ⑤ 7時間以上  
 ⑥ 日帰りできないので泊り込みを必要とする

Q3

--

Q 6. この地区の人々が医療施設へ通院するのに利用できる患者輸送のための車あるいは船がありますか。また、その設置主体はどこですか。

① ある (設置主体 )

② な い

Q6

Q 7. 慢性疾患で在宅療養をしているこの地区の人で、通院ができない(あるいは困難な)場合、通院以外の方法で保健医療サービスを受けることができますか。次に示すものうち可能なものを記入して下さい。

① 電話で医師に相談することができる

② 医師の往診を求めることができる

③ 電話等による医師の指示にもとづき、医師以外の人から治療を受けることができる

④ 医師以外の保健医療関係者の訪問をうけることができる

⑤ 医師以外の保健医療関係者に電話で相談することができる

Q7


( Q 7 の回答が③の場合は記入して下さい )

→ Q 7 - S Q 1. それはどんな職種の人ですか。

( )

( Q 7 の回答が④の場合は記入して下さい )

→ Q 7 - S Q 2. それはどんな職種の人ですか。

( )

( Q 7 の回答が⑤の場合は記入して下さい )

→ Q 7 - S Q 3. それはどんな職種の人ですか。

( )

Q 8. 地区内に救急医療に何らかの協力をする人が特に決められていますか。

① 決められている

② 決められていない

Q8

( Q 8 の回答が①の場合、SQ 1、SQ 2を記入して下さい )

→ Q 8 - S Q 1. それはどのような名称ですか。またどのようなことに協力するので

すか。

( )

→ Q 8 - S Q 2. その人は次のうちどれに該当しますか。

① 就業していない看護婦 (保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦)

② 看護職の資格はないが、何らかの救急訓練を受けた人

③ 看護職の資格もなく、救急訓練も受けていない人

Q8 SQ2

Q 9. 地区内に急病人が出た場合、医師に往診してもらうことができますか。

① たいして来てもらえない

② その時の事情による

③ よほどの緊急事態でないときに来てもらえない

④ まず来てもらえない

Q9

Q10. すぐ処置する必要があるのに医師にみせるまでもでかなり時間がかかる場合、応急処置は誰によってなされることが最も多いですか。ここ1～2年のことを考えて、下から1つだけえらんで下さい。

- ① 保健所、市町村の保健婦
- ② もよりの医療施設の看護職（保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦）
- ③ 救急医療に協力するよう特にきめられた非就業看護職
- ④ 救急医療に協力するよう特にきめられた人（③を除く）
- ⑤ その他（①②③以外）の看護職（例：たまたまそこに居住している人）
- ⑥ 役場の人、警察の人、学校の先生など公務員
- ⑦ 家族やまわりの人が医師・看護婦等と連絡をとって
- ⑧ 家族やまわりの人が自己流で
- ⑨ その他（ ）
- ⑩ 応急処置を必要とすることはほとんどなかった

Q10

Q11. 急病人を医療施設に搬送する場合、地区中心地から、時間は最低片道どれ位かかりますか。

- ① 1時間以内
- ② 1～2時間
- ③ 2～3時間
- ④ 3～5時間
- ⑤ 5時間以上

Q11

Q12. この地区の人々にとって、公的な救急搬送手段は利用しやすいですか。

- ① 利用しやすい
- ② 利用しやすい時と、しにくい時がある
- ③ 利用しにくい

Q12

（Q12の回答が②の場合は記入して下さい）

→Q12-SQ1. どのような時に利用しにくいのですか。

( )

（Q12の回答が③の場合は記入して下さい）

→Q12-SQ2. なぜ利用しにくいのですか。

( )

Q13. 急病人発生時、公的な搬送手段を利用できず、やむをえず、タクシー、ハイヤー、チャーター船を利用したり、あるいは公的な搬送につなげるまでの間をタクシー、ハイヤー、チャーター船で搬送した場合、市町村より費用が補填されることがありますか。

- ① ある
- ② ない

Q13

（費用の補填がある場合は記入して下さい）

→Q13-SQ1. 補填される場合の条件、補填額などについて記入して下さい。

( )

Q14. 急病人を医療施設に搬送するのにタクシー、ハイヤー、チャーター船を利用した場合、費用は最低どれ位かかりますか。

① 500円以内	② 500～1,000円
③ 1,000～2,000円	④ 2,000～3,000円
⑤ 3,000～5,000円	⑥ 5,000～1,0000円
⑦ 10,000円以上	

Q14

## B 豪雪地および離島住民の保健医療に関する意識調査 豪雪地用

付：記入の手引（調査員への説明書）

略：選択肢のカード（対象者に提示したもの）

### 豪雪地無医地区住民調査票

昭和52年

社団法人 日本看護協会  
調査研究部

この調査票は、保健婦さんが無医地区住民と面接しながら、ご記入いただくものです。「記入のてびき・豪雪地無医地区住民調査用」と、この調査票の内容とをあらかじめよくお読みの上、調査を実施して下さい。

—— 御協力ありがとうございました。 ——

#### 記入上の注意

- ・調査者（保健婦）は、質問文だけを読みあげて下さい。（ ）の中は読む必要はありません。
- ・（カード提示）とある場合は、選択肢のカードを対象者にみせて、その中から答えてもらって下さい。
- ・回答らんに、対象者の回答に最も近い選択肢の番号を1マスに1つだけ記入して下さい。

例

Q50	イ	3
	ロ	1

- ・対象者によっては、とばしてよい質問があります。（SQ、あるいは、妊娠出産を経験しない人など）この場合は記入もれと区別するため、とばしてよい質問の回答らんに右のように斜線をひいて下さい。

例

<input type="checkbox"/>
--------------------------

※面接にでかける前に、記入していただくところがありますので、ご注意下さい。（Q1～Q10）

「記入のてびき」参照の上記入して下さい。

県 番 号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地 区 番 号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>